

第27回 議員と語るかい

テーマ 人権条例の制定を目指して

人権を守る会かごしま × 総務環境常任委員会

参加者の声



語るかいを重ねるごとに、議論が深まってきていると感じる。(60歳代 女性)

人権の確立に向けて、条例の制定をお願いします。(70歳代 男性)

※ 所管事務調査も含め勉強しながら、検討していきます。5ページに調査報告を掲載しています。

テーマ 霧島市における医療・介護問題

霧島市社会保障推進協議会 × 文教厚生常任委員会

参加者の声



議員の考え方がわかったこと、その考えのなかに解決の糸口があると感じた。(50歳代 男性)

市民の生活に根付いた市政、特に生活困難な住民へ霧島市政として具体的にどう支援していけるのか、独自の創意工夫を期待します。(60歳代 男性)

テーマ 土地改良区の役割と課題

霧島市土地改良区連絡会 × 産業建設常任委員会

参加者の声



去年の意見交換を受けて、今回は現地調査ができ一層充実したものになったと思う。(50歳代 男性)

上場の畑作地帯にも目を向けて、畑作営農にも尽力いただきたい。(50歳代 男性)

土地改良区の公的役割に一層の理解と、維持管理への支援をお願いしたい。(50歳代 男性)

産業建設常任委員会 行政視察報告

行政視察とは、他の自治体の先進的な取り組みの地域を訪れ、行政や経済、文化の実情・事例を調査することです。

観光業務で2市、公営住宅管理業務で1市の視察を行いました。

観光業務視察では、観光協会の役割が大きく、地域資源を活かし、事業展開をされ、民間活力を活かすことでの地域経済活性化は、必要であると感じました。

公営住宅管理業務視察では、民間賃貸住宅の空き家活用により、市の施設管理等の視点から行政のスリム化を図り、将来において合理的かつ効率的であることを感じました。

本市においても施策の検討を期待したい。

◎7月17日 神奈川県 藤沢市 人口 430,349人 (平成30年6月1日現在)

■湘南藤沢フィルム・コミッション事業 → 「議員の質問から事業開始へ」

主な業務は、映画製作・ロケ撮影の協力・各種協力要請・作品の宣伝協力となっている。

年間の平均ロケ日数 180~200日

依頼件数 約500件 (実績は、150件)

直接経済効果 (宿泊・ロケ弁等) 約1,500万円

間接的経済効果 50~90億円



■シティプロモーションの推進について → 「推進方針で、定住人口や交流人口の増加を目指す」
推進方針を定め、藤沢市のブランド価値向上を目指す。年齢層や地域を絞り込んだ取り組み
テーマソング、ダンス、公式マスコット、キャッチフレーズ、ロゴマーク、ファンクラブの取り組み
平成29年度から企業版ふじさわファンクラブを創設している。

◎7月18日 神奈川県 小田原市 人口 191,389人 (平成30年6月1日現在)

■小田原市観光戦略ビジョンについて → 「小田原ファン倍増宣言により、入込客数増加を目指す」
観光協会の組織強化を図るため、地域DMOの設置により、事業を展開し、観光振興を図る。

※地域DMOとは、地域の稼ぐ力を引き出し、観光地域づくりの舵取り役で戦略実施の調整機能法人

観光客入込客数増加計画 現在 451万人 → 平成41年度 1,000万人

◎7月19日 茨城県 ひたちなか市 人口 155,594人 (平成30年5月31日現在)

■民間住宅家賃補助制度について → 「老朽化した市営住宅の廃止から民間賃貸住宅の補助へ」
補助対象となる民間賃貸を選定し、家賃補助を行う。行政が行う住宅建設・維持管理費等不要

補助額 家賃月額額の1/2 (上限2万円)

補助期間 最長60か月

交付時期 年4回

平成29年度実績 → 補助件数 91件

補助金額 1,858万2,000円

財源 社会総合交付金 (補助金) を活用している。

補助率は45%である。

